

## 平成28年5月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	H28年5月 数量 (トン)	H28年5月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野菜	人参	徳島県産・千葉県産中心の販売でした。徳島県産は5月後半に遅れての出荷と、千葉県産が若干の前進出荷となりました。	707	177	127%	107%
2		キャベツ	各産地、約1週間の前進出荷となっています。	880	103	89%	67%
3		トマト	熊本県産・愛知県産中心の販売でした。熊本県では震災の影響がありました。	414	286	93%	80%
4		レタス	前半は茨城県産、中盤以降は長野県産の販売が中心でした。概ね順調な出荷となりました。	374	179	140%	80%
5		馬鈴薯	2月の鹿児島県、長崎地方の降雪の影響で収穫が減少しました。	362	226	100%	97%
6	果実	甘夏	九州産では2月の降雪が影響し、品質の早期劣化を恐れ、前倒しの出荷体制で5月における大幅な入荷減単価高となりました。他県産も同様な傾向でした。	71	224	67%	117%
7		アングス	九州産の生産減を受け、関東市場では大幅な入荷減となりました。関東産の出荷は早まったものの、九州産同様茨城県産を中心に産地における他品種への転換が顕著となり、メロン全体の入荷減となりました。	20	523	46%	89%
8		いちご	栃木県産、群馬県産中心の販売でした。天候も良く順調な出荷でした。	93	820	127%	112%